

公共工事環境配慮仕様書

1. 公共工事を施工する際は、騒音規制法第 14 条第 1 項及び第 15 条第 1 項に基づき、特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準（環境省令で定める規制基準、作業時間、1 日における延作業時間、同一場所における連続作業時間等）を遵守するとともに、振動規制法第 15 条第 1 項の環境省令で定める基準（振動規制法施行規則第 11 条による基準）を遵守すること。
2. 公共工事を施工する際は、工事着手 7 日前までに騒音規制法第 14 条第 1 項、第 2 項及び第 3 項に基づき市長に届出をするとともに、振動規制法第 14 条第 1 項、第 2 項及び第 3 項に基づき市長に届出をすること。
3. 日曜・祝日・夜間などは工事を行わないように、適正な作業時間になるように工程管理に配慮すること。ただし、工事の性格からやむをえず実施する場合は、担当課との協議により実施すること。
4. 公共工事での資材・土砂等の搬出入については、周辺の住環境及び交通事情に充分配慮すること。
5. 公共工事用機械については、低公害型建設機械で作業するように努めること。
6. 建設副産物（コンクリート、アスファルト）の削減とリサイクルを推進すること。
7. 熱帯材型枠の使用量の削減に努めること。
8. リサイクル可能な素材、廃棄物から再生された建設資材の活用を推進すること。
9. 関係住民に対し、事業の内容等について必要に応じて情報を提供すること。